

「クリニカルパス標準データモデルに基づいた診療プロセス解析・アウトカム解析」の 研究期間延長に関するお知らせ

■ 研究の対象となる方

2018年12月1日以降から2021年3月1日までの間において、社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 循環器内科、泌尿器科、外科、整形外科、消化管内科に入院された患者さんの中から、経皮的冠動脈形成術、胸腔鏡視下肺切除術、ロボット支援前立腺切除術、経尿道的膀胱腫瘍切除術、人工股関節置換術、カテーテルアブレーション、胃内視鏡的粘膜下層剥離術、腹腔鏡下大腸切除術のクリニカルパスを適用され、文書同意を取得した方

■ 目的・方法

【目的】

「アウトカム志向型パス」は、アウトカムユニット（アウトカム・アセスメント・タスク）を医療行為の基本単位と定め、この基本単位の組み合わせにより、診療プロセスを構築するものであり、日本クリニカルパス学会が提唱している。本研究は、「アウトカム志向型パス」に基づいて、アウトカムユニットを基本単位とする標準的形式でクリニカルパスのデータを多施設から収集して蓄積し、診療プロセス解析、アウトカム解析を行うことを目的とする。

【背景】

「クリニカルパス」は、「患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画であり、標準からの偏位（ずれ）を分析することで医療の質を改善する手法」と定義される。日本クリニカルパス学会が推奨するアウトカム志向型パスは、「アウトカム、アセスメント、タスク」の3層構造（アウトカムユニットと呼ぶ）からなる。アウトカムユニットは、診療プロセスの基本単位であり、診療プロセスをアウトカム項目中心に管理できると同時に、診療プロセス解析、アウトカム解析にも適している。

しかし、電子カルテシステム上のパスは、システムベンダー間で解釈自体にバラつきがあり、またパスの項目、構造ともベンダーで大きく異なっている。そのため、複数医療施設の間のパス項目の比較さえ困難な状況である。そこで、申請者等は以下のAMED研究開発事業にて電子カルテシステムベンダーに関わりなく標準的形式でパスデータを格納するパス標準データリポジトリを構築し、各施設にてアウトカム項目を中心とする診療プロセスデータを把握・管理できるように、研究開発を進めた。

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)

研究開発課題名：クリニカルパス標準データモデルの開発および利活用

課題管理番号：181e0210001h0001

研究開発代表者：社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 副島秀久

研究開発期間：2018年10月1日～2021年3月31日

上記事業で蓄積されたデータについて、研究期間を2022年3月31日まで延長し、引き続き可視化・解析する。

上記事業の結果、診療プロセス解析、アウトカム解析によって多くの有益なエビデンスを創出することに成功した。そのため、研究期間を1年間延長し、上記事業で構築されたデータベースを用いて更なる診療プロセス解析、アウトカム解析を行い、追加のエビデンスを創出する。

■ 変更後の研究実施期間

研究実施許可日～2022年3月31日

■ 研究の実施体制 ※他施設共同研究の場合のみ記載

研究代表 社会福祉法人^{思賜財団}済生会熊本病院 医療情報調査分析研究所 所長 副島 秀久
共同研究施設 九州大学病院、国立病院機構四国がんセンター、NTT 東日本関東病院

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	社会福祉法人 ^{思賜財団} 済生会熊本病院 医療情報調査分析研究所 係長 中熊 英貴 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
-----	--

以上